

平成28年12月：第401回 大野市議会定例会

一般質問 12月5日（月） 午前

質問者	質問方式	質問概要
兼井（創生おおの）	一問一答方式	<p>1 大野市小中学校再編計画（案）とまちづくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 9月議会答弁では、「住民説明会での意見や質問に対する回答は、会場で直接答弁し十分ご理解いただくように努力する」とのことだが、ご理解をいただいたのか。 ○ 「いろいろな提案等々につきましては、十分検討はさせていただきたい」「住民説明会とパブリックコメントでの意見や質問は、教育委員会や総合教育会議で協議し、1月の再編計画の策定に向けて取り組む」との答弁だが、どのような提案を、どのように検討をしたのか。 ○ 1月の計画策定のスケジュールに変更はないのか。変更がない場合、住民説明会での意見や提案についての検討結果を市民へ伝える必要性についての考えをお聞かせ願いたい。 ○ 市長への3,000人署名の意見書や、議会へ複数の陳情書が提出されていることについて、どう考えているのか。 ○ 計画案には、学校整備に係る事業費も書かれていた。市民と行政が協力し、市の財政状況の経年的な比較や、県内自治体・類似団体と比較できる財政白書を作成・全戸配布を行い、学校再編、少子化対策、地域活性化、市民協働等について、より深い議論をするチャンスではないか。 ○ 教育のまちづくりを核に、子育て満足度日本一を目指して、子どもを産み育てやすい環境づくりを行うことで、転入者数が転出者数を上回る「社会増」の達成という目に見える効果を得ている自治体がある。 「キャリング・ウォーター・プロジェクト」「大野ポスター展」「写真集作成」等の間接的な取組みも必要だが、直接的に人口減少対策に結び付く「共働き子育て世代」に向けた施策を、市を挙げて取り組む考えは。

質問者	質問方式	質問概要
兼井（創生おおの）	一問一答方式	<p>2 化石のブランド化について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「越前おおのブランド戦略」の中で、自然環境のブランド化戦略として「化石産出地や名水百選、星空日本一などの独自資源の価値を今後も継続して保存し活用する」とあるが、化石についてはどのような成果を挙げているのか。 ○ 知事への要望書にも取り上げている化石発掘体験事業の今後の展開について、どのように考えているのか。 ○ 全国で行われている化石発掘体験と比較し、強みと言われている出張発掘体験や現地発掘体験等を戦略的に強化が必要ではないか。 貴重な天然資源の化石を有効に活用することで、地域経済を活性化させ、学術的価値の高い化石の保護・保存に費用配分する仕組みが必要でないか。 ○ 県は、第2恐竜博物館の整備に向け、基本構想・計画の素案を11月、最終報告書案は2017年2月をめどにまとめる方針と報道されているが、積極的に誘致を行っているのか。
		<p>3 子どもの目の健康づくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「黒板の文字をノートに写すのが遅い」「似ている文字をよく間違える」「教室の黒板の文字は見えるけど、机の上のノートや教科書がよく見えない」といった近くを見る視力（近見視力）不良は、学校の遠くを見る視力（遠見視力）測定では発見されにくく、さらに近くがはっきり見える経験がない子どもは、見えていなくてもそれが普通だと思い気付きにくい。 よく見えないことが原因で、学習時の集中力の低下や運動能力を発揮できなくなる事例に近年注目されている。さらに、視力の発達は6歳頃に完成すると言われている。 そこで、鯖江市で既に取り組みされている3歳児健康診断や就学時健康診断時の「両目開放型視力検査機」による視力検査によって、早期に目の異常を発見し、適切な治療を受ける環境整備の必要性についてお聞かせ願いたい。

質問者	質問方式	質問概要
藤堂（誠和会・公明党）	一括質問・答弁方式	1 市の行政改革の状況について <ul style="list-style-type: none"> ○ 市の財政状況は、どのようになっているか聞きたい。 ○ 人口減少に伴う、特別会計等を加味した10年後の財政状況の見通しを聞きたい。 ○ 指定管理者委託制度によって、市の財政的利点を聞きたい。 ○ 自主財源比率アップの施策を聞きたい。 ○ 国による地方交付税等、将来の推移を、市はどのように捉えているのか聞きたい。 ○ 公共施設用地の地代等の状況と見直しの考え方を聞きたい。
		2 六呂師高原スキー体験施設整備計画について <ul style="list-style-type: none"> ○ 六呂師高原スキー体験施設整備計画は、どのようになるのか詳細を尋ねたい。 ○ 整備された施設の管理運営は、どのようになるのか尋ねたい。 ○ 9月県議会において、産業常任委員会で付帯決議を付けて可決されたと報道されているが、詳細を尋ねたい。
		3 企業版ふるさと納税について
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域活性化を目的とする自治体の事業に寄付した企業が税控除を受けられる「企業版ふるさと納税」地方創生応援税制の取組みと考えを聞きたい。

一般質問

12月5日（月） 午後

質問者	質問方式	質問概要
梅林（創生おおの）	一問一答方式	<p>1 市長の政治姿勢について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 日本国憲法 93 条の定める二元代表制をどのように捉え、市政に反映させておられるか。 ○ 第五次大野市総合計画後期基本計画における行財政改革、市長の願う職員力、組織力とはどのようなものか。 ○ 平成 27 年度決算の事業評価と、平成 29 年度予算編成の方針は。
		<p>2 男女共同参画プランについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 男女共同参画基本法施行から 17 年、男女共同参画社会の全国的な流れと、他市の状況及び本市の状況は。 ○ 男女共同参画プラン改訂に向けての進ちょく状況と今後の予定は。 ○ 各課の連携を、どのように図っていくのか。
畑中（創生おおの）	一括質問・答弁方式	<p>1 国道 158 号境寺・計石バイパスの早期実現について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 一刻も早い完成が求められるが、市としてはいつ頃の完成目標を立てているのか。 ○ 関係機関や近接施工に伴う協議を行っているがあるが、どのような協議をいつから行い、いつまでに終えるのか。
		<p>2 六呂師高原再開発について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ スキー場再開に向けて、県との協議はどうなっているのか。どのような計画で進んでいくのか。 ○ 来春オープン予定のうらら館の管理運営は、どうするのか。
		<p>3 富田地区の産業団地整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 31 年度造成完了に向けて、企業誘致や産業立地のための行動をしていくべきであるが、どうか。 ○ 団地造成の事業費内訳や資金調達について尋ねる。
		<p>4 人口減少と空き家対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市民の満足度調査をすることにより、人口減少に歯止めを掛けるための答えが見いだせるのではと思うが、調査をする考えは。 ○ 大野で生まれ生き抜こうと、自信と誇りを持てる市民に育てるための啓蒙活動をすべきだと思うが、方策は。

質問者	質問方式	質問概要
野村（日本共産党大野市議団）	一括質問・答弁方式	<p>1 小中学校再編について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 来年1月に計画案を計画として策定することについて <ul style="list-style-type: none"> ・計画策定の条件とは何か。その条件は整ったのか。 ○ 住民説明会とパブリックコメントについて <ul style="list-style-type: none"> ・計画（案）の説明会を10回としていたが、結果は。 ・住民説明会とパブリックコメントの特徴は、市民の反応や意見は、どのようなものであったのか。 ・記録を公開するべきではないのか。 ○ 再編検討協議会から再編推進協議会への改変について <ul style="list-style-type: none"> ・再編推進協議会とすることについて、教育委員会ではどのような議論がなされたのか。 ○ 来年度予算に盛り込むのか。 <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校再編整備基本構想策定に関する予算を盛り込む予定なのか。 ○ スクールバス通学に問題はないのか。 <ul style="list-style-type: none"> ・児童に与える影響をどのように考えているのか。 ・和泉地区から中部縦貫自動車道を通って登下校する危険性を、どのように認識しているのか。
		<p>2 就学援助制度について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新入学児童生徒学用品費の早期支給について <ul style="list-style-type: none"> ・厚労省が「平成27年度要保護児童生徒援助費補助金の事務処理について（通知）」2015年8月24日付け ・文科省の初等中等教育局長が「児童・生徒が援助を必要とする時期に速やかに支給できるように、十分配慮するよう通知している」と答弁（2016年5月24日参院文科学委員会） ・これに対して大野市はどのように具体化しようとしているのか。

質問者	質問方式	質問概要
高田(創生おおの)	一問一答方式	<p>1 広域観光の連携について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 現在の他自治体との観光もしくはPRにおける連携の、具体的な内容をお尋ねしたい。 ○ 奥越前(奥越)として、勝山市との観光における連携については、どのようにお考えかお尋ねしたい。 ○ 観光庁が打ち出しているDMO形成・確立についてのお考えをお尋ねしたい。
		<p>2 避難準備情報について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 9月20日の台風16号に伴い発令された大雨による避難準備情報の、発令の判断と手順をお尋ねしたい。 ○ 避難準備情報発令終了後の検証は、いかがであったかお尋ねしたい。

質問者	質問方式	質問概要
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">榮(日本共産党大野市議団)</p>	<p>一括質問・答弁方式</p>	<p>1 議案第 79 号 大野市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案について</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ○ この 79 号議案の提案は、一般職の給与改定と市長・教育長の給与及び議員の報酬の改定を抱き合わせで、お手盛りと言われても仕方ないのではないか。 ○ 「特別職報酬等審議会」の審議を省いたのはなぜか明らかにすべきでは。 ○ 今後は「特別職報酬等審議会」に諮問し、答申を得るべきだと思うが、どうか。
		<p>2 市長交際費について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市長交際費の市民 1 人当たりの支出が他市に比べて突出して多いが、どう考えるか。 ○ 弔電の相手方の全面公開や、お供えの相手方の氏名を明らかにできない理由は何か。 ○ 接遇・渉外費は、「来客対応、視察・折衝に必要な土産等に係る支出」とあるが、85 万 9,648 円、75 件の支出相手は全て「市政協力者」という記載で、相手を公開しない理由は何か。 ○ 政策協議費は、「市政運営に必要な意見交換。情報収集等の懇談に係る支出」とあるが、相手は不明、政策協議の内容は曖昧、支出は高額で、支払先は飲食店と言われている。行政の執行上必要な支出の理由は何か。 ○ 会費は、各種団体などとの懇親が目的の支出なら、食糧費ではないのか。
<p>3 議案第 82 号 大野市農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例案について</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 見直しという使用料の値上げの理由は。 ○ 提案されている佐開、南六呂師、富田南部の値上げによる歳入増を、どれだけ見込んでいるか。 ○ 一般会計からの繰入れは考えられないのか。 ○ 下水道事業会計との統合は考えないのか。 		

質問者	質問方式	質問概要
<p style="text-align: center;">榮 (日本共産党大野市議団)</p>	<p style="text-align: center;">一括質問・答弁方式</p>	<p>4 学校教育審議会の議事録公開請求に対し一部公開を不服とした異議申立の件について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 行政不服審査会は、11月1日、「発言している審議委員の氏名を除き、公開をするように」との答申を出した。 公開請求者は、直ちに「議事録」を公開するように求めたが、教育委員会は11月24日、学校教育審議委員の了解を得て「非公開」とした経過から、公開することについて学校教育委員の了解が必要として、12月定例教育委員会で「答申」の取扱いを審議するとしているとのことだが、教育委員会は、不服審査会「答申」に対して「不服申し立て」をする権利は保有しているが、現時点で「答申」をどのように受け止めているか。 ○ 不服審査会の答申は、公開請求者と同じく、教育委員会も同日受け取ったはずである。答申から1カ月経過している。今日、公開請求者が問い合わせなければ、何の情報も提供しない対応は、教育委員会に対する不信を抱かせるが、どうか。 ○ 学校再編住民説明会記録・パブリックコメントのまとめ等の集計発表は、いつ行う予定か。

質問者	質問方式	質問概要
<p style="text-align: center;">松 原 (新生おおの)</p>	<p style="text-align: center;">一括質問・答弁方式</p>	<p>1 大野市は自然とどのように関わっているのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 森林との関わりについて ○ 農地との関わりについて ○ 河川、湖との関わりについて ○ 海との関わりについて ○ オリーブの樹、植栽について ○ 自然災害による橋りょう、道路などの管理は、どのように行われているのか。 <p>2 大野市の文化発祥について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 文化会館は、大野市の文化発祥の起点となっているのか、お聞きする。 ○ 音楽、美術、芸能などとの触れ合いについて ○ 文化会館ホールの座席椅子について

質問者	質問方式	質問概要
<p style="text-align: center;">廣 田 (立 志 会)</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl;">一問一答方式</p>	<p>1 小中学校再編計画の策定について</p> <p>再編計画の策定に当たり、下記の点について考慮が必要だと思いがいかがか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 公民館機能の強化と地域との連携とあるが、これからの各地区や学校区の在り方も含め、どのような仕組みを模索しているのか。 ○ 免許取得者の高齢化による死傷事故が増えているが、今後の安全な交通網をどのように整備していくのか。 ○ 中高生が他市の魅力ある中高へ進学しているが、大野市も特色ある教育を構築することが必要と考えるがいかがか。 ○ 多くの市民から発言のあった、今後の当市における課題を、各地区、学校区、世代別等で議論をする場が必要ではないか。
		<p>2 第七次大野市行政改革大綱について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 以下4点の中で、各部局において特に注力されている取組みがあれば知りたい。 <ul style="list-style-type: none"> ・第五次大野市総合計画の実現と市民サービスの向上 ・市民総参加型市政の推進 ・職員の意識改革と人材育成 ・結の故郷づくりの推進

質問者	質問方式	質問概要
堀田(立志会)	一括質問・答弁方式	<p>1 地方創生と各地区の在り方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 少子高齢化・人口減少によって、大野市に与える影響は。 ○ 人口減少や少子高齢化社会の進行に伴い、各地区のコミュニティーの存続のための施策は。 ○ 地方創生に関するここ2年間の一連の動向や社会環境の変化についての感想は。 ○ 総合戦略に掲げた各種事業の進ちょく状況や成果は。また、設定した指標の評価・検証結果は。また、当市にとって有効な事業は。 ○ 地方創生の今後の取組みとしての事業と進め方は。
		<p>2 移住定住対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 移住定住対策について <ul style="list-style-type: none"> ・都市部の人の大野市への移住意向は。 ・これまでの移住定住策の評価（成果）や、課題は。 ○ 移住体験や学生による研修などの短期滞在の方を呼び込むための対処策は。
		<p>3 再生可能エネルギーと地域産業活性化の今後の取組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 木質バイオマス発電稼働状況は。 ○ コミュニティー（集落）林業の拡大や衛星利用測位システム（GPS）の活用などの取組みと連動連携は。 ○ 隣接農地での大規模農業用ハウスなどの、現時点での進ちょく状況と今後の進め方は。 ○ 小水力発電施設の進ちょく状況は。 ○ 雪の活用については。 ○ 再生可能エネルギーの子どもたちへの周知は。

質問者	質問方式	質問概要
松田(倉生おおの)	一問一答方式	<p>1 大野市小中学校再編計画(案)について</p> <p>人口減少対策は、大野市の最重要課題であり、大野市の人口ビジョンとその実現のための総合戦略を展開している。今副市長席を置き、機動的かつ集中的にスピードある展開を期待しているところである。あらゆる資源と知識をこの事業に集中して、その効果を高めることが求められている。</p> <p>○ 40回の素案説明会と20回の計画案の説明会を終えて、地域と学校の関係について、地域の若者の減少や地域の活力が失われることや通学のことなど、地域に大きな影響が出るとの、先の見えない市民の不安や不満に対し、ここに至っての市長の思いをお聞きしたい。</p> <p>○ 先日、市長宛てに「大野の未来を考える会」から3,000人以上の署名とともに提出された陳情書は、誠に重いものであると認識するが、現在の市長の心情や所見をお伺いする。</p> <p>○ 10月定例教育委員会で、10回の前半の説明会に出された意見や要望について、18項目にまとめられ提出されていたが、どのような内容なのか質問する。</p>
		<p>2 健全な財政の創出について</p> <p>少子高齢化と人口減少の波が加速していくことは、さまざまな社会現象の変化をもたらし、自治体にとっても生き残りをかけた戦いになると考えられる。投資効果が思うように発揮できず、果実が全て実るとは限らないことが多くなる時代である。知恵を結集し、工夫が物を言う時代になっている。</p> <p>政策に当たっては、担当課はもちろん、関連部署が連携して、中長期的な視野に立って財政の運営に当たることが重要になってきている。</p> <p>○ これからの財政運営に当たっての課題は何か。 一般会計、特別会計、その他について</p> <p>○ 今、考えられている文化会館の新築、小中学校新築3校と道の駅関連の建設が、これから10年間の財政に与える影響についてお聞きしたい。</p>